

平成28年度市税の当初予算について

■市税収入は、1,574億4,340万円(前年度比7億10万円の増、+0.4%)

平成28年度の市税収入は、個人市民税や固定資産税などにおいて増収が見込まれることから、前年度に比べ7億10万円(+0.4%)の増となった。

〈個人市民税〉 所得の増加が見込まれることなどから、対前年度比5億円増の471億円。

【予算額 471億1,900万円 前年度比+1.1%、+5億2,700万円】

〈法人市民税〉 税制改正による影響(地方法人税の導入の平年度化、法人実効税率の引下げ)による減(△16億円)が見込まれることから、対前年度比8億円減の124億円。

※地方法人税:法人住民税の一部の国税化

【予算額 124億3,100万円 前年度比△6.2%、△8億2,600万円】

〈固定資産税〉 土地は地価下落の影響により3億円の減、家屋は新增築により10億円の増、償却資産は新規設備投資の増加により3億円の増。これらなどにより、全体として対前年度比8億円増の805億円。

〈都市計画税〉

【予算額 804億8,700万円 前年度比+1.0%、+8億1,500万円】

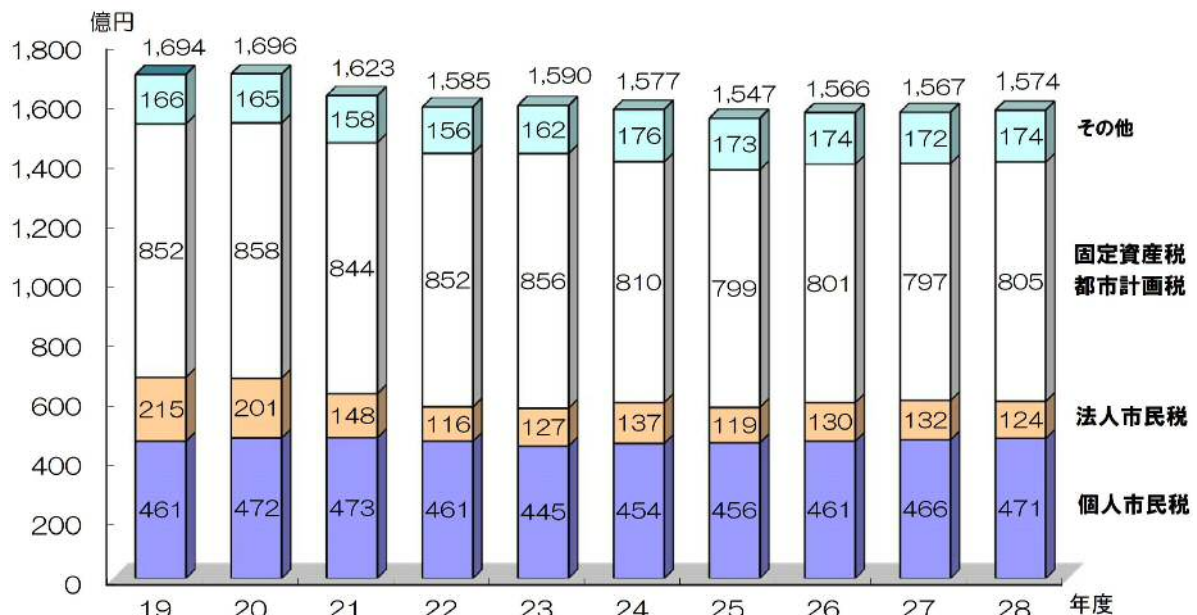
〈軽自動車税〉 税率の高い自家用四輪自動車の課税台数の増、税制改正の影響(二輪車の税率引上げ等)による増が見込まれることから、対前年度比2億円増の17億円。

【予算額 16億6,940万円 前年度比+12.6%、+1億8,710万円】

〈市たばこ税〉 たばこ離れによる売り渡し本数の減少が続くと見込まれることから、対前年度比1億円減の78億円。

【予算額 78億300万円 前年度比△1.2%、△9,700万円】

《市税予算の推移 当初予算ベース》



※その他:軽自動車税、市たばこ税、鉱産税、特別土地保有税、入湯税、事業所税及び環境未来税の合計額

問い合わせ先

財政局税務部税制課 渡部 (TEL582-2030)